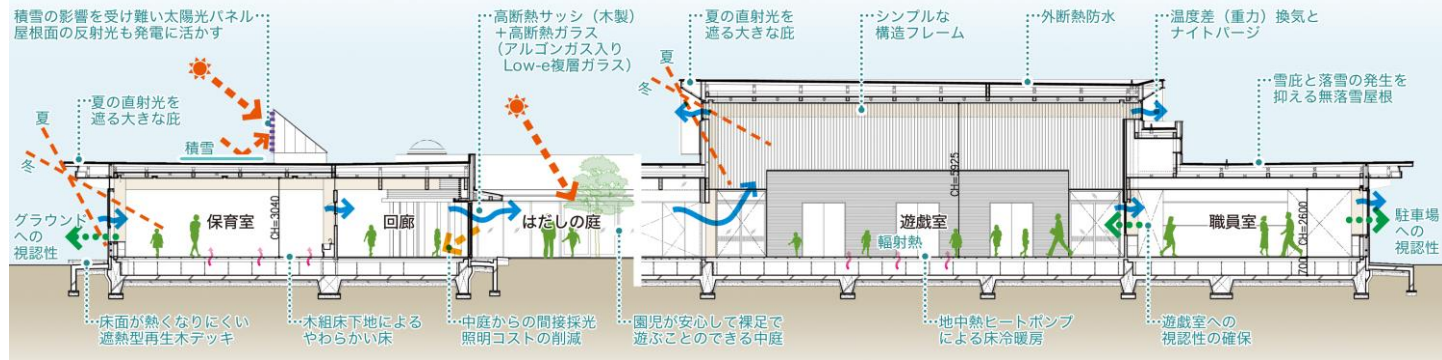




施設名称：訓子府町幼保連携型認定こども園 わくわく園
 施 主：訓子府町
 建築場所：訓子府町旭町75番地
 地域地区：都市計画区域外・法第22条地域
 設計監理：株式会社久米設計 札幌支社
 施 工：北成・久島・丸建特定建設工事共同企業体
 建築：北成建設株式会社
 久島工業株式会社
 丸建工業株式会社
 電気：横井電気株式会社
 空調衛生：天内工業株式会社（再生エネルギー施設工事含む）
 工事期間：平成27年 3月31日～平成28年 3月15日（建設工事）
 平成28年11月30日（外構工事）

敷地面積：9,884.02 m²
 建築面積：2,080.68 m²（建蔽率 21.05%）
 延べ面積：1,902.06 m²（容積率 19.24%）
 構造規模：木造平屋建（町産材集成材）、準耐火建築物（口準耐-1）
 建物高さ：7.14m
 建築写真：今田 耕太郎
 施設開設：平成28年4月1日
 園児定員：200名
 学級編成：保育園部 0歳 1クラス／1～2歳 各2クラス
 幼稚園部 3～5歳 各2学級



わくわく園

Center for Early Childhood Education and Care / KUNNEPPU WAKUWAKUEN since2016



訓子府町幼保連携型認定こども園「わくわく園」
訓子府町わくわく園は老朽化した幼稚園・保育園を建替え・統合し、0歳から5歳までの約200名が通う、町唯一の町立幼保連携型認定こども園として誕生しました。

中庭を取り囲む一体感のあるコンパクトな園舎

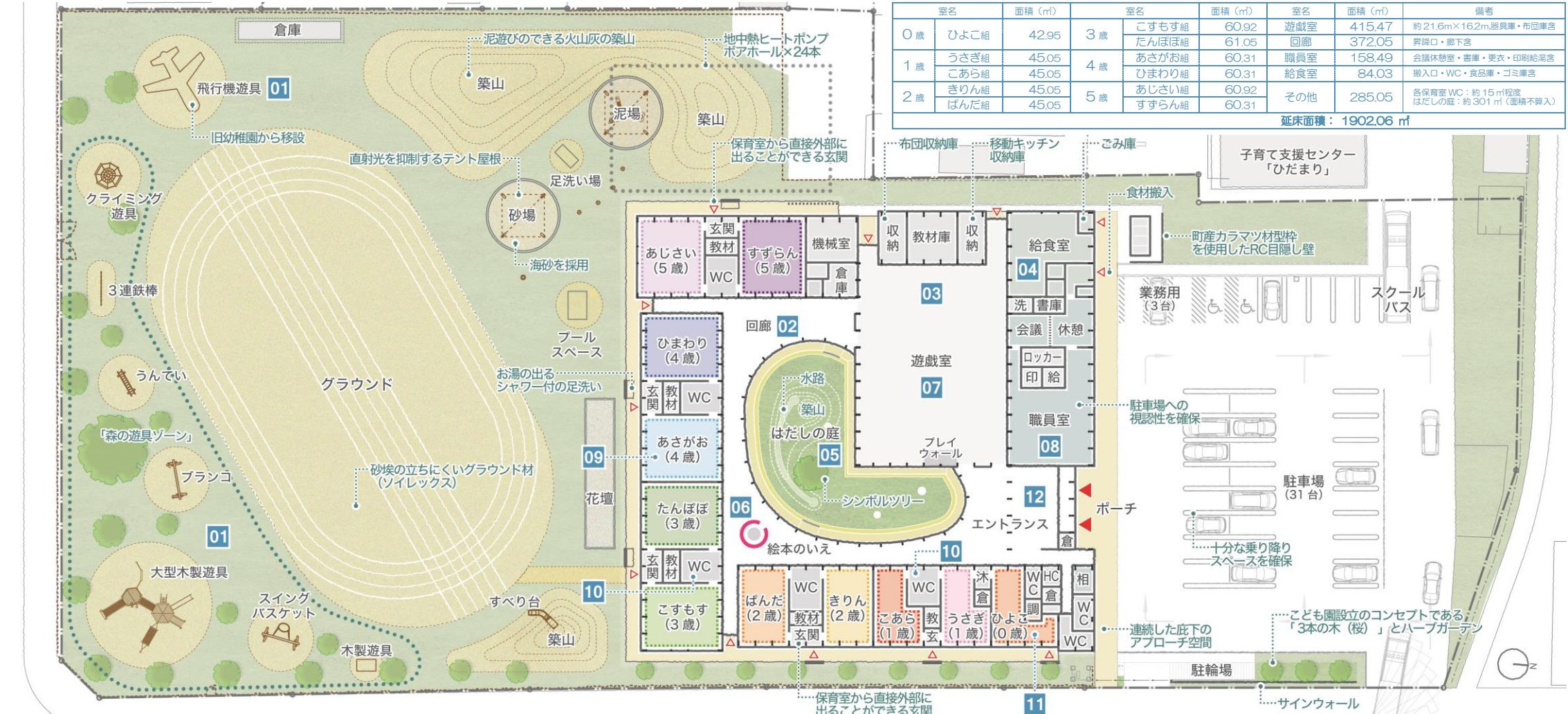
園児達の生活の中心となる保育室は各年齢ごとに独立性を持った落ち着いた環境とし、中庭を中心に行き止まりの無い回遊性のある廊下で繋ぐ計画としました。周囲から目が行き届き、誰もが安心して遊べる芝生の中庭（はだしの庭）を中心に園舎に一体感が生まれ、異年齢や障がいをもつ園児らが自然に「ふれあい」や「たすけあい」が実践できる場となることを目指しました。

地域産の特性を最大限に活かした温もりのある園舎

町産カラマツの集成材を採用した木造とし、町有林の樹径を考慮した構造部材サイズとしました。また、外壁耐火の準耐火建築物とすることで繊細な構造表現を実現しました。床材には姉妹町の高知県津野町産材のヒノキを採用し、外壁には現場掘削土を練りこんだレンガタイルを採用しました。

環境に優しく、温かく風通しの良い園舎

外張り断熱工法と断熱サッシ＋超高断熱ガラスを採用し、夏は中庭を通して風が通り抜け、冬は温度ムラの無い温かく快適な環境をつくりました。地中熱 HP による床冷暖房や、太陽光発電・蓄電設備の採用など、環境に優しい園舎を目指しました。



01 園児の記憶に残る「木製遊具」と「飛行機遊具」

記憶に残る園庭をを目指し、特徴的なデザインの木製遊具を設置しています。旧幼稚園に設置されていた飛行機遊具を修復し、園庭が見渡せる特等席に移設しました。



05 裸足で思いっきり水遊びができる芝生の中庭＝「はだしの庭」

園舎内から裸足のまま外に出ることのできる全面芝生の中庭。建物で吸抜ける風を巡り、外での活動期間を最大化します。ヤマモミジのシンボルツリーが季節感を演出します。



09 園庭・築山へと繋がり、広々として過ごしやすい「以上児保育室」

木の温かみがあり、明るい保育室。年齢毎に設置された玄関から直接園庭に出ることができます。園児の視線の高さに配慮した窓からは賑やかな園庭への風景が広がります。



02 みんなが一つに繋がる「回廊」

園舎に一体感を生み出し、みんなが一つに繋がる行き止まりの無い回廊空間。はだしの庭を眺めながら思い思いに遊んだり、集まったりすることができる空間です。



06 秘密基地のような「絵本のいえ」

本棚に囲まれた秘密基地のような空間。落ち着いた絵本を楽しんだり、読み聞かせや園児のクールダウン、こっこ遊びの拠点となる人気スポットです。



10 行くことが楽しくなる 明るい「トイレ」

回廊越しの自然光が入る、明るく清潔な空間。行くことが楽しくなりスムーズにトイレトレーニングができるようになっています。（保育室の様子が見える窓も設置しています）



03 様々なイベントに活用できる「移動キッチン」

収納可能な移動キッチンを4台設置しています。給排水・IHヒーターを備え、ライブ調理や食育のイベントなど、多目的に活用することができます。



07 のびのびと活動できる「遊戯室」と「プレイウォール」

裸足で思い切り走り回ることの出来る、天井高さ（梁下）5.5mの広々とした空間。プレイウォールではボルタリングやロープ登りを楽しむ事ができます。



11 安心・安全に配慮した、落ち着いた「未満児保育室」

安全性や、午睡などの生活環境に配慮した落ち着いた保育室。回廊側の窓から元気に過ごす園児の様子をそっと見られるようにし、保護者の安心感向上に寄与します。



04 調理の様子が見える「給食室」

地元産の旬の食材を活かした完全自園内給食で、その調理の様子が見えるようにしています。遊戯室に隣接することで、食育イベント時のスムーズな連携を可能としています。



08 園児の活動の様子が見える「職員室」

駐車場・玄関・遊戯室に面することで来園者や登降園、活動への視認性を高めています。また、給食室との隣接によりスタッフ間の綿密な連携と情報共有を図っています。



12 活動の様子が見える 明るい「玄関」

はだしの庭とトップライトからの自然光が入る明るい玄関。生活やイベントの様子を撮影した写真を表示するモニター（太陽光発電表示兼用）を設置しています。

